

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービスロバの子ハウス				支援プログラム（参考様式）		作成日		7	年	6	月	30	日
法人（事業所）理念		利用者の意思及び人格を尊重し、障がい児及び利用者の立場に立った適切な支援の提供を確保することを目的とする。													
支援方針		障がい児が日常生活における基本的動作を習得し集団生活に適応できるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれる環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。													
営業時間			10 時		0 分から		18 時		0 分まで	送迎実施の有無		あり なし			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	おやつ時間は決められた時間に食べるようにし、手洗いうがいは勿論の事、手洗い場の前にイラストや手順表を掲示し視覚的に支援する。体調管理、健康観察については活動前後に表情や顔色、言動7などを確認し、異変に早く気づくよう努める。													
	運動・感覚	粗大運動については公園へ出向き遊びながらバランス感覚を育む。微細運動についてはクレヨンや鉛筆で線なぞりや、塗り絵を取り入れ指先の力を育てる。感覚刺激については音や光に敏感な場合、静かな場所やイヤーマフの使用などで環境調整をする。													
	認知・行動	活動に入る前「これからすること」の説明をし、職員が隣に座り一緒に取り組むことで安心感と集中を促す。行動の切り替えはスムーズに移行できるよう、タイマーやカードで活動の終わりを知らせる。													
	言語コミュニケーション	1対1や小集団での遊びを通じて、あいさつや順番待ちの練習をする。絵カードやジェスチャーを使って、自分の気持ちを伝える機会を増やす。													
	人間関係社会性	ボードゲームなどのルール遊びを通して、順番を待つ練習を行う。活動前にルールの説明を簡潔に行い、理解できるよう支援する。													
家族支援		保護者の悩みや困りごとを共有し育児・療育のアドバイスや情報提供。保護者の心理的な負担の軽減、安心感の提供。							移行支援		学校訪問や就学相談での情報共有を行い、相談支援相談員との連携の中で進学等の支援体制を整える。				
地域支援・地域連携		地域のイベントや施設を利用する経験を通じて社会参加の力を育む。学校や他事業所との支援会議に参加し、支援状況を確認する。							職員の質の向上		毎月、ミーティングを行い虐待防止、感染症対策、障がい特性、応急処置などをテーマに職員研修を実施。				
主な行事等		誕生日会。夏祭り。川遊び。絵画教室。など様々な施設に出向き子どもたちに経験や知識を身につけてもらう。													